

B—2 京都市某女子大学学生の身体計測結果について

京都女子大

土井サチヨ

石田 勝代

○勝谷 弥生

1. 私共は衣服寸法の基準設定を目標として、昭和36年・37年の2回にわたり、京都女子大学及び短期大学部

学生合計 611 名（昭和36年 215 名，昭和37年 396 名）について20項目の身体計測を行なった。今回は主として身長・胸囲に対する10項目の相関関係について考察してみた。尚，昭和36年度の調査は衣服寸法研究グループの調査研究の一環として実施したものである。

2. 計測寸法は衣服寸法研究グループの協定による方法によった。

3. 身長に対して相関の高い項目は背丈・総丈・袖丈であり，胸囲に対して相関の高い項目は腰囲・胴囲・頸付根囲であった。